

歯と口の健康づくりの取組事例

大分県教育庁日田教育事務所

管内各小・中学校において、歯と口の健康づくりに向けて、歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物洗口の三つの視点で、学校と家庭が協働した取組を進めていただいております。「1学期取組状況調査」から、「成果が表れている」と報告いただいた取組の事例を以下にご紹介いたします。

自校の健康課題への対応に向けた参考資料としてご活用ください。

視点	取組内容		具体的な成果
歯みがき指導	学校	保健体育委員会による歯と口の健康週間における虫歯予防ポスター作成及び校内放送	給食後の歯みがき実施率の増加
		歯みがきの個別指導（一人ずつ手鏡で確認）	丁寧な歯みがきの実施
	家庭	就寝前の歯みがきの取組 （「生活リズム点検カード」の目標の一つ）	就寝前の歯みがき実施率の増加
		親子で取り組む「歯みがきカレンダー」	朝晩の歯みがきの習慣化
食に関する指導	家庭	養護教諭による食に関する指導	健康的な食について実践する家庭の増加
		朝食を生徒と一緒に取るように依頼	個食生徒の減少
		間食防止の取組（健康づくり週間の設定）	取組実施率の増加
フッ化物洗口	保護者	フッ化物洗口の保護者説明	実施率の向上
		フッ化物洗口前日の保護者による健康観察を実施（毎週）	子どもの体調管理に対する保護者の意識向上

日田教育事務所「令和2年度1学期取組状況調査」による